

応募用紙「土木広報大賞 2023」

団体名：国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所(徳山下松港開港 100 周年記念協賛事業)			
応募部門 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> イベント部門	<input type="checkbox"/> 映像・メディア部門	<input type="checkbox"/> 広報ツール・アイテム部門
	<input checked="" type="checkbox"/> 教育・教材部門	<input type="checkbox"/> 商業広告部門	<input checked="" type="checkbox"/> 企画部門

土木広報活動または作品名：Show! 楽♪港!(しょう!がっ♪こう!)

広報活動または作品の概要：

【概要】

2022年2月10日に開港100周年を迎え、地域の発展を支えてきた「徳山下松港」への愛着や誇りを創出するため、次世代を担う小学生をターゲットとした「Show! 楽♪港!」(オンラインによる交流授業)を企画した。

徳山下松港が周南地域の3市(周南市、下松市、光市)にまたがることに着目し、コミュニケーションのとりづらいうらいコロナ禍において、自治体の枠を超えて3市の小学校をつなぎ児童達が交流しながら楽しく港を学ぶことを実現した創意工夫のある企画である。

【実施内容】

講座名: Show! 楽♪港!(しょう!がっ♪こう!)

参加実績: 3市の小学5年生を中心とした 14 校 26 クラス、約 650 名の児童

授業内容: 「港の役割」、「徳山下松港の特徴」、「SDGs に資するブルーカーボン生態系」の学習。

実施方式: ①1つのクラスで対面授業を行いながら、web 会議サービスで複数のクラスにオンライン配信するハイブリッド形式で実施。

⇒コロナ禍に配慮しながら講師と児童のコミュニケーションを確保

②web 会議サービスのブレイクアウトルーム機能を活用し、参加したクラス間の交流を実施。

⇒自治体や学校の枠を越えた交流・意見交換を実現

実施フロー:

STEP1) 港湾整備のプロである国土交通省の職員(講師)から、全参加校への授業を実施。

STEP2) クラス内で小人数単位のグループワークを実施し、自分の考えを発表する機会を提供。

STEP3) 各クラスから代表者数名が発表を行い、学校の枠を越えた学びの時間と他者の考えを共有。

STEP4) 授業終了後、各クラス単位で「寄せ書き」や「オリジナル新聞」を作成することによる振り返り。

STEP5) 希望する学校を対象とした港湾工事の現場見学により、港や港湾土木のスケールを体感。



写真 - 授業のスキーム

【実施の様子】

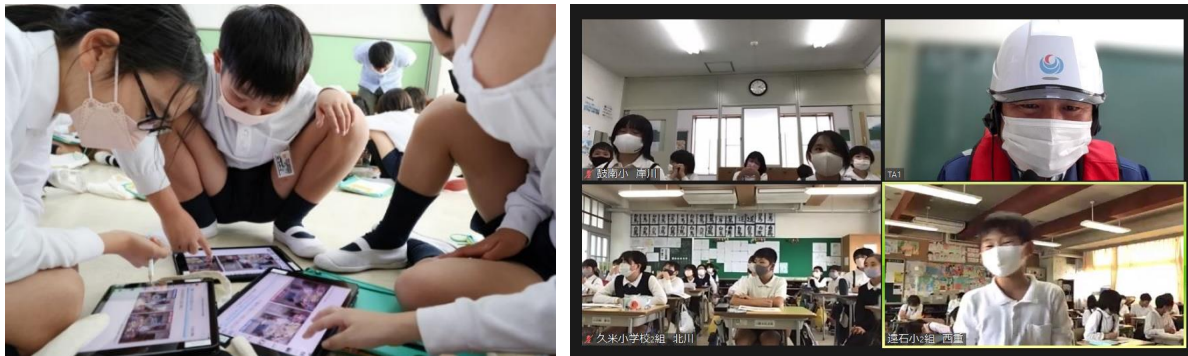


写真 - グループディスカッションと学校の枠を越えた発表の様子



写真 - 授業最後の集合写真の様子

広報活動または作品の効果：

【受信側が得られた効果】

「Show! 楽♪港!」を通じて、周南地域の児童がつながり、生活に必要不可欠な「港」を身近に感じてもらうことができた。開港100周年記念イベント(徳山下松港)へ足を運んでもらうきっかけとなった。(学びと交流)



図 - 振り返りの例 (寄せ書き や オリジナル新聞)



【発信側が得られた効果】

土木技術者の情報発信能力の向上だけでなく、児童の楽しそうな笑顔や真剣な眼差しに触れることにより、職の意義ややりがいを再認識することができ、モチベーションを維持・向上させる等の副次的効果が得られた。